

総務大臣から感謝状を
贈呈されました



総務省茨城行政評価事務所長(左)と町長(右)から
竹内 邦博氏(中央)へ感謝状を贈呈

竹内邦博氏(土与部在住)が総務大臣から感謝状を贈呈されました。竹内邦博氏は、平成11年4月に行政相談委員として任命され、平成25年3月までの14年間にわたり、住民の皆様の身近な相談相手として、行政に関する相談などを受け付け、その解決のために、ご尽力いただきました。

このたびの感謝状の贈呈に対し、心よりお祝い申し上げますとともに益々のご活躍をお祈りします。

スポーツ少年団入団式
・ 普通救命講習会

4月20日、B&G海洋センターにおいて、町スポーツ少年団の入団式が行われました。

各スポーツ少年団はユニフォームを着て、元気よく入場行進をしました。

式では、役員や指導者の方々からお祝いの言葉をいただいた後、五霞MAX(男子ミニバスケットボール)キャプテンの下條侑聖さん(五霞西小6年)から、力強い誓いの言葉がありました。

子どもたちは少年団活動を通してスポーツの楽しさや、あいさつ、礼儀などを学びます。子どもたちのこれからの成長を見守りましょう。

式終了後には、指導者、母集団を対象に普通救命講習会を開催し、心肺蘇生やAEDの使用方法について講習を行いました。



コミュニティ交通の運行準備を進めています
～地域のみなさんの交通手段を確保するために～

平成25年秋の試験運行に
向けた協議がスタートしました

4月25日、多目的集会センターにおいて、第1回公共交通会議が開催され、平成25年秋に予定しているコミュニティ交通の試験運行に係る協議がされました。

会議では、町内を循環するコミュニティ交通を運行していくために、様々な側面から運行をサポートする五霞町コミュニティ交通運営協議会を設置することになりました。

また、コミュニティ交通を安全安心で安定した運行事業が運営できるように、企画提案型の(※)公募型プロポーザル方式で運行事業者を選定することになりました。

今後は、運行ルートや運行時間、停留所の位置、運賃等を決定し、運行するために必要な関係機関への協議、申請を行っていきます。コミュニティ交通の取り組みは、引き続き広報紙等でお知らせしていきます。

※プロポーザル方式とは、業務の委託者を選定する際に、複数の者から企画を提案してもらい、その中から優れた提案を行った者を選定することです。

コミュニティ交通運営協議会が
設立されました



5月8日、多目的集会センターにおいて、運営協議会設立総会が開催され、町内の公共交通を住民・交通事業者・行政が一体となって取り組んでいくため、自立を目指した運営協議会が設立されました。

この運営協議会は、地域の関係者や住民で構成し、地域交通の運行ルートや運行時間、運行回数、停留所の設置などの計画を検討するとともに、利用促進のための周知活動や情報チラシの作成を行います。

今後は、運営協議会が主体となつて、コミュニティバスの運行準備を進め、平成25年秋の試験運行を目指していきます。